

アスクリート

アスクリートキットCO(コンクリート用)取扱説明書

1. 内容品とその用途

プライマー用樹脂：接着剤としてコンクリート下地面に塗布します。

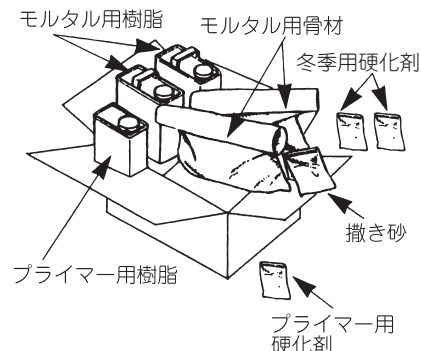
モルタル用樹脂：骨材と混ぜて樹脂モルタルを作ります。

モルタル用骨材：樹脂と混ぜて樹脂モルタルを作ります。

撒き砂：すべり止めのために、硬化前の樹脂モルタル表面に散布します。

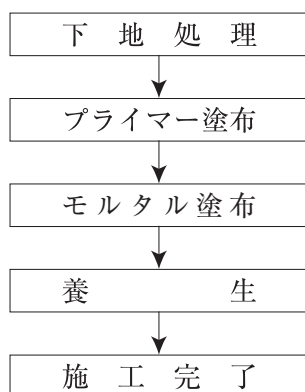
プライマー用硬化剤：プライマー用樹脂に添加します。

冬季用硬化剤：低温時に樹脂モルタルに添加して、硬化時間を早めます。



2. 施工方法

(1) 施工フロー図



(2) 施工方法の説明

a. 下地処理

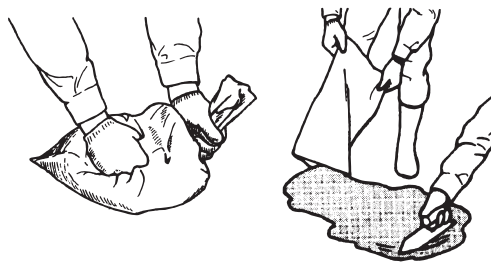
コンクリート舗装表面に付着したゴミや油脂分・水分等を除去します。レイタンス分が残っている場合は、骨材面がでるまで除去します。ダイヤモンドカップ付きディスクグラインダーで研掃する事を基本とします。下地処理においては、清浄で乾燥した堅固な下地面に仕上げることを目的とします。

b. プライマー塗布

下地処理完了後、補修部分周辺をガムテープで養生します。塗布手順は、まずプライマー樹脂缶の中にプライマー用硬化剤を投入します。次に、蓋を閉じ指で押さえながら、10～20秒程度缶を上下に振り、樹脂と硬化剤を十分に混合します。これをハケ・ローラー等にて塗布します。塗布量は、250～400g/m²とします。

c. モルタル塗布

モルタル用骨材（袋入り）の中へモルタル用樹脂（缶入り）を投入し、骨材袋の口をしっかりとつかみながら袋中で樹脂と骨材を揉みほぐすようにして良く攪拌します。（約1分程度）攪拌完了後、補修箇所にて敷き均します。なお使用量が多い場合には、混練にハンドミキサー、練りダルを使うと効率的です。硬化完了の目安（＝交通解放）は、指で押してへこまなくなった時点です。表面にタック（若干のべとつき）が残る場合がありますが、性能には問題ありません。モルタルの付着したコテは、市販のラッカーシンナーにて洗浄してください。



(3) 冬の施工について

外気温が10℃以下の場合に冬季用硬化剤を使用してください。（プライマーには必要ありません）

骨材1袋の中に冬季用硬化剤を1袋投入して、骨材袋を空練りしてから、樹脂を入れてよく攪拌してください。冬季用硬化剤を添加しない場合、硬化が十分に進行しないことがあります。また、気温の高い日に冬季用硬化剤を使用しますと硬化時間が早くなり、可使時間が十分にとれないことがありますので使用条件には十分注意してください。

3. 施工上の注意

ー火気についてー

プライマー及びモルタル用樹脂は、消防法に定める第4類第1石油類（引火点21℃未満）に属する可燃性液体です。タバコ等の火気には十分注意を払うとともに、熱や直射日光を避けて保管してください。保管場所、施工場所には、常に消火器を用意しておいてください。

ー樹脂液についてー

プライマー及びモルタル用樹脂に長期にわたって繰り返し接触すると皮膚炎を起こすことがあるので、必ず保護手袋を着用してください。皮膚に付いたときは、布などで拭き取ってから石鹸水でよく洗ってください。揮発分に有害な毒性はありませんが換気をよくして下さい。目に入った場合は直ちに清浄な水で15分以上洗浄し医師の診断を受けてください。飲み込んだ場合は、無理に吐き出させず、医師の診断を受けてください。さらに詳しくはSDS（安全データシート）をご覧ください。樹脂液並びに樹脂モルタルは、硬化時に反応熱で高温となり、また刺激臭の煙が出る場合があります。そのような時には、硬化反応が終わるまで屋外で放置してください。粘度調整や硬化時間の調整のためにシンナー等で薄めることは絶対にしないでください。硬化不良の原因になります。

ー骨材についてー

硬化の段階において樹脂モルタルは水分の存在を嫌いますので、骨材は絶対に湿らさないように取り扱ってください。骨材の中に、樹脂を固まらせる硬化剤が添加してあります。他の骨材での代用はできません。

ープライマー塗布についてー

プライマー樹脂缶の中に、プライマー用硬化剤を投入し、よく攪拌した後、すばやく塗工してください。缶に樹脂液が入ったままだと、プライマー樹脂成分の蒸気が立ち上ったり、硬化熱により急激に発熱（オーバーヒート）することがあるので注意してください。樹脂量が多い時は、ローラーパンなどに移して表面積を広げるとオーバーヒートを防ぐことができます。プライマー樹脂を一度に塗工しきれない場合、樹脂液を別容器に半分ほど計りとったものに、硬化剤を1袋の半分投入しよく攪拌してから塗工することもできます。

ーモルタル塗布についてー

樹脂モルタルの塗布にあたっては、下地面に樹脂が行き渡るようコテ圧を十分にかけ振動させるようにしてゆっくり敷き均してください。

ー下地温度についてー

夏場、直射日光の下では路面温度がかなりの高温になります。この様な場合、樹脂モルタルの硬化が急速に進行するため、可使時間が極端に短くなり仕上がり状態などの施工性が悪化、また、樹脂モルタルとしての性能も低下するため、シート等で覆うなどして可能な限り下地温度を下げて施工してください。（目標温度40℃以下）

ー工具の洗浄についてー

樹脂モルタルの付着した道具の洗浄は、市販のラッカーシンナーにて行ってください。硬化の前であれば容易に洗浄できます。コテ等に付着した硬化したモルタルは、一晚ラッカーシンナーに浸しておきますと容易に除去できます。

4. 保管上の注意

アスクリートキットCOは、直射日光や雨水のあたらない風通しの良い冷暗所に保管してください。保管場所には、火気厳禁の表示を行ってください。



美州興産株式会社

〒450-0003 名古屋市中村区名駅南1-17-28

TEL 052-551-9400 (代) FAX 052-551-9231